

事業所名	従業員規模	所在地	支援テーマ	支援回数
個人 S氏	5名	和歌山県岩出市	6次産業化による販路拡大と雇用環境整備	専門家支援2回

## 相談内容・現状課題

### ■相談内容

果樹と野菜の複合経営を行っており、里芋25aを栽培。消費者ニーズに合った里芋の加工品づくりに着手したいと考えており、専門家のアドバイスを受けたい。

### ■現状課題等

・生の里芋は調理の手間から消費者が敬遠する傾向にあり、直売所から国産里芋の水煮パックの需要があるため商品化したいが、自ら加工すべきか外部委託すべきか、また、それぞれのメリット・デメリットや資金面等の知識が不足。

・加工品づくりと併せて規模拡大・売上向上を図るため、常時雇用を行いたい意向があり、雇用契約書の内容や労災保険等、雇用環境整備について支援が必要。

## 相談所の支援体制・伴走支援チームからの改善提案(問題解決方法)

### ■支援体制

経営戦略会議において和歌山県6次産業化サポートセンターと連携した支援方針を決定。

- ① 加工品づくり: 和歌山県6次産業化サポートセンター【マーケティング】
- ② 雇用環境整備: わかやま農業経営サポートセンター【社会保険労務士】

### ■支援内容

- ① 加工品づくり
  - ・6次産業化総合化事業計画を策定し、農園全体の経営における加工品製造販売の位置づけを明確化することを助言。
  - ・既存商品のリサーチと、それよりも優位性のある商品づくりが重要であることを説明。水煮パック以外の商品も検討することとなった。
  - ・まず外部委託での開始とし、県内で小ロットの製造に対応できる委託先を探すこととなった。
- ② 雇用環境整備
  - ・雇用契約書と面接時チェックリストのモデルを提示し、人材募集時の労働条件について助言。
  - ・労災保険は雇用形態にかかわらず事業主責任を考慮して加入しておくべきと助言。

## 支援の成果・その後の状況

### ■支援の成果・その後の状況

- ①加工品づくり  
 専門家のアドバイスを  
 受け、水煮パックの製造  
 委託先を模索しつつ、  
 親芋のチップスやパウ  
 ダー化にも取り組み始  
 めたところ。
- ②雇用環境整備  
 農業における人材募集時のポイントや労務環境  
 整備について理解が深まった。今後、従業員採  
 用時に再度支援を行う予定。



試作した里芋加工品

### ■コーディネーター所感

相談内容に応じて県6次産業化サポートセンターとわかやま農業経営サポートセンターで連携して対応し、それぞれの分野に特化した専門家を派遣することができた。

相談者は農業経営塾を受講し、策定した経営計画に基づき経営発展に取り組んでおり、面積拡大や法人化も視野に入れていることから、必要に応じて今後も支援してまいりたい。